

あいちの印刷

12

2009.12
No.457



京都・美山の集落

もくじ

巻頭言 「新年互礼会へご参加を！」 ／組織・共済・労務委員長 猪飼重太郎.....	3
全日本印刷工業組合連合会「業態変革・ワンストップ サービス実践ガイドブックVer.2」を発行	4
「PRINT NEXT2010」.....	5
「Japan Color 認定制度」.....	6
JGAS2009の技術動向.....	8
身近な催し物のお知らせ.....	11
ご案内.....	12
学校法人日本プリンティングアカデミー(JPA).....	13
パネルディスカッション開催のご案内.....	14
全国青年印刷人協議会からのコメント ／事務局だより.....	14

巻頭言

「新年互礼会へご参加を！」

組織・共済・労務委員長 猪飼 重太郎

去る9月27日に実施させていただきました奈良公園ウォーキングには大勢のご参加をいただき感謝申し上げます。スケジュールの時間配分につきまして一部の方からはご批判もいただきましたが、おおむね満足との回答をアンケートではいただきました。特に、薬師寺での村上執事長様の講話はユーモアの中に人の生き方に対する示唆に富んだお話をしていただき好評でした。私共経営者も従業員の皆様もきっと気持ちの安らぎを感じられたのではと思います。

私事ですが、11月1日に唐招提寺の金堂の落慶法要に参加する機会がありました。改めて中国から仏教をお伝えに来られた鑑真和上の偉大さを教えられました。奈良は京都とは違った伝統と文化を感じます。参加された方がたのご要望も参考にして、次回もよりよいレクリエーションになるよう工夫させていただきます。

来年のことを言うと鬼が笑うと申しますが、来年の平成22年1月13日(水)に名古屋東急ホテルにおいて新年互礼会の際に開催される講演会も今回で4回目となります。今回は全国青年印刷人協議会で活躍されている白田真人氏、岸昌洋氏、江守克治氏のご三方に『INSATUへの飛翔』と言うテーマでパネルディスカッションをしていただきます。この企画はニューヨークで

も行われ、好評を博しております。今回はそのときと違い実際のオブジェが会場に展示できないので、冊子をみながらの聴講となります。面白い講演となると思いますので、是非関係各位の方々お誘い合わせのうえ、お一人様でも多くのご参加をお待ち申し上げます。

また、今回は懇親会場を余裕をもって設営しますので新年の業界の皆様との交流をごゆっくり座りながらお楽しみいただけると存じます。食事の内容も先日委員会で試食会を催し、10人が献立を吟味いたしました。何分にも大勢の皆様に一時に供しななければならないので制約もありますが、できうる限り満足をいただけるよう、委員それぞれの意見をホテル側に申し述べてまいりました。きっと最後のお時間までお楽しみいただける懇親会になるのではと期待しております。試食会へはお二人のシェフ自らがご挨拶にみえ、ホテル側の誠意を感じました。

経済環境の大変厳しい折柄、業界関係者との新年最初の交流会が少しでも皆様の元気の源になる、そんな新年互礼会になればと存じます。また、1年間「あいちの印刷」をご愛読いただきまして感謝申し上げます。来年がわれわれ業界にとって少しでも明るい年になるよう祈念申し上げます。お礼の言葉とさせていただきます。

KOMORI
Tredium of Impression

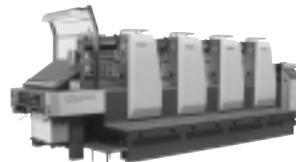


マルチプレーヤー、現る。

<http://www.komori.com>

“SPICA”は、「4色印刷物の増大、短納期、低価格化、高品質、ワンパス化」といったニーズにパーフェクトに応える片面4色・両面2色カラー印刷機のスタンダードモデル。A3サイズからA2サイズ、薄半葉へとステップアップを目指す印刷会社の次世代戦略機として大きな威力を発揮するコストパフォーマンスに優れたマシンです。そのキーワードは、「小さなスペース、大きな利益、バリバリ稼ぐ!」。現状の印刷ビジネスに、さらなる活力を与えます。

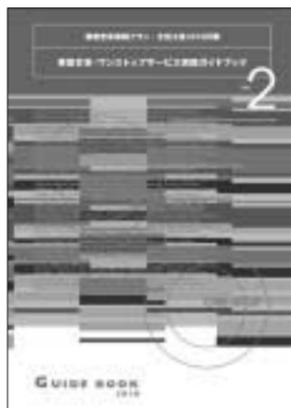
SPICAはオプションで印刷物の厚み(重量)の異なる、SPICA(標準)とSPICA(薄葉)の2タイプが用意されています。



薄半葉反転機構付4色オフセット枚数印刷機
SPICA 29P-W

(株)小森コーポレーション

名古屋支店 / TEL.052-363-5011
〒454-0807 名古屋市中川区愛知町4-6



全日本印刷工業組合連合会

「業態変革・ワンストップサービス 実践ガイドブックVer.2」を発行

より実践に即した内容でビジネス戦略を紹介
各地で進む業態変革・三藤印刷(株)を掲載

全日本印刷工業組合連合会(水上光啓会長)は、このほど、「業態変革・ワンストップサービス実践ガイドブックVer.2」を発刊した。同書は、業態変革実践プラン-全印工連2010計画の集大成として、業態変革推進企画室が制作したもので、変革の実践について解説している。また、35社の事例を掲載し、地域との共生や商品開発、CSRの導入や海外進出事業など、幅広い分野での業態変革事例を紹介している。

ガイドブックはA4判156ページ。価格は組員2,000円、一般6,000円です(税込み)。

【内容】

序章「不況期こそビジネスチャンス」全印工連会長・水上光啓

不況期に経営者がなすべきこと、印刷ビジネスの変容と今後の展望、ワンストップサービスで収益拡大へ、サービス業からの発想、長期的成長のために

第1章「業態変革実践プラン2010計画」業態変革推進企画室委員長・花崎博己

業態変革の重要性、業態変革実践プラン-全印工連2010計画、印刷業界を取りまく環境、米国の印刷業界、米国の印刷業界から学ぶもの、これからの日本の印刷業界

第2章「新たなビジネスモデルをつくる 製造業とサービス業の融合に続くもの」

印刷が工業をつくってきた「製造業」、顧客サポートを実現する「サービス業」、印刷業だけの強み「メディア・プロフェッショナル」、印刷業が目指す方向はソリューション・プロバイダー

第3章「ワンストップと特化戦略」

ワンストップサービスWIN-WIN関係を創る、ワンストップサービスへの誤解、営業のワンストップ、製造の専門特化を

第4章「ワンストップサービスに取り組む」

専門特化を切り口にする、印刷付帯サービス

で考える、印刷の事業領域から捉える、発想の幅を広げるソリューションマップ

第5章「実践事例に学ぶビジネス戦略」

地域とともに考える/ソーゴ印刷(北海道)、ハリウコミュニケーションズ(宮城県)、利根川印刷(東京都)、ワタナベメディアプロダクツ(千葉県)

市場エリアを拡大する/高山印刷(岐阜県)、大六印刷(同)、西日本ビジネス印刷(福岡県)、プリントネット(鹿児島県)

独自製品を提供する/北海道磁気印刷(北海道)、マルモ印刷(香川県)、米谷印刷工業(大阪府)、吉田印刷所(新潟県)

ドメインをシフトする/錦明印刷(東京都)、日本貿易印刷(神奈川県)、田中印刷所(滋賀県)、図書印刷同朋舎(京都府)、レイ・グラフィックス(東京都)

CSR経営を目指す/大川印刷(神奈川県)、協進印刷(同)、中西印刷(京都府)

各地で進む業態変革/幡本印刷(北海道)、ヤマゼンコミュニケーションズ(栃木県)、耕文社(静岡県)、大和(神奈川県)、横浜ハイテクプリンティング(同)、セントラルプロフィックス(東京都)、三藤印刷(愛知県)、山田写真製版所(富山県)、千巻印刷産業(三重県)、北東工業(大阪府)、赤坂印刷(山口県)、価値組委員会(広島県)、豊予社(愛媛県)、救仁郷デザイン事務所(宮城県)、アークマウントコーポレーション(福岡県)

第6章「私が考える業態変革」

業態変革推進企画室からのメッセージ

第7章「逆引き業態変革」

業態変革の実践、顧客の立場で考える、自社の方向性、印刷産業の方向性、ワンストップサービスの実践

「PRINT NEXT 2010」

「未来の印刷」テーマに
小・中学生を対象に作品公募
絵部門と作文部門

「PRINT NEXT2010」実行委員会では、小・中学生を対象に「未来の印刷」をテーマとした絵部門と作文部門での作品を公募している。

【開催概要】

目的 子供達に「未来の印刷」を創造してもらうことにより、全く新しい未来の印刷の姿を考える。また、次世代、次々世代が描く様々な未来の印刷像を意識することができ、今後の業界発展の一助になる。このテーマで表現するためには、子供達は親が働いている現実の職場を見たり聞いたりする機会が必要であり、家族の中での親子の会話のテーマとなりうる。親の仕事を理解することにより、家族の絆を深め、かつ、親が携わる仕事「印刷」に関心を抱かせるきっかけとなれば、永遠の課題である事業継承の問題解決の一助にもなる。

表彰式 2010年2月6日(土)

会場 椿山荘(東京都文京区)

応募条件 対象/小・中学生(印刷業界関係者の子供が主な対象)

絵部門 大きさはA3規格(420×297mm)、もしくは、画用紙八つ切り(390×270mm)、表現方法は、クレヨン・鉛筆・水彩など、何でも可(作品に対する思いや説明を添付する)

作文部門 1200字以内(原稿用紙3枚以内)



募集期間 11月1日~12月31日まで(必着)

表彰 最優秀賞(各部門1名)、優秀賞(各部門1名)、審査員特別賞(若干名)

表彰方法 <絵部門>表彰状授与、図書カード贈呈、当日会場内掲示、新聞掲載 <作文部門>表彰状授与、図書カード贈呈、当日本人朗読、新聞掲載

応募先 全日本印刷工業組合連合会事務局「未来の印刷」大賞係 〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 TEL03-3552-4571 FAX03-3552-7727

主催 PRINT NEXT2010実行委員会(全国青年印刷人協議会、全国印刷緑友会、社団法人日本グラフィックサービス工業会青年部SPACE21、日本青年会議所メディア印刷部会、全日本紙器ダンボール箱工業組合連合会青年部協議会)

協力 全日本印刷工業組合連合会

OLIVER496SD 菊全判4色印刷機

大型多色SDシリーズ 第一弾

オールインワン 最新自動化設備 完全装備

最高の製品をお届けすることで、お客様の満足をお約束します

Sakurai
株式会社 桜井グラフィックシステムズ
<http://www.sakurai-gs.co.jp>

本社 〒135-0032 東京都江東区福住2-2-9
TEL.(03)3643-1131(代) FAX.(03)3643-1138

中部営業所 〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575)35-2551(代) FAX.(0575)35-2881

大阪営業所 〒532-0012 大阪府淀川区木川東3-1-31
TEL.(06)6308-6651(代) FAX.(06)6308-6679

九州営業所 〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8
TEL.(092)741-2672(代) FAX.(092)741-2670

岐阜工場 〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575)33-1260(代) FAX.(0575)33-3146

ISO 9001・14001 認証取得
品質保証体制

「Japan Color 認証制度」



印刷会社及び発注者における「品質基準」共通の指標
「Japan Color」

新規審査料は350,000円
(事前審査 + 本審査 + 登録料)

「Japan Color」の概要

「Japan Colorとは、(社)日本印刷学会が制定したオフセット枚葉用印刷における標準印刷色「枚葉印刷用Japan Color2007」(以下、「Japan Color」という)を基準とした認証制度(主に印刷会社向けの認証)です。

従来、出来上がった印刷物のよし悪しはお客様の目によって決められており、明確な基準がない中で印刷物は作成されてきました。印刷物の発注者、デザイナー、カメラマンなどからの色再現の要求に、印刷会社は度重なる修正や刷り直しで対応しているのが実情です。このような状況を生じているのは、印刷物作成に際しての標準的な基準がなく、認定する公の機関がないことが大きな要因となっているためです。

そこで、発注者がJapan Colorで指定した通りの色が、適切に印刷会社で再現されることを一般化する基準を策定したのが「Japan Color 認証制度」です。同認証を受けた印刷会社は、Japan Color 認定のロゴマークなどの使用が可能になり、Japan Colorでの印刷が適切に行えることを対外的にアピールできます。また、デジタルカラーブルーフやデジタル印刷機などへの認証を行う制度も併せて立ち上げることで、色に関する実用的な統一基準を幅広い分野で利用可能になります。

認証を受けるには

1) 標準印刷認証

標準印刷認証制度は、「Japan Color」をターゲットとして、安定した品質の印刷物を作り出す能力があることを認める「印刷認証」です。Japan Colorを基準とした印刷物を安定的に印刷する印刷工程能力が保証される。認証基準でのチェック項目は、次の三点になります。

管理状況(管理状況チェックリストでの確認)

本誌9月号に既報のごとく、(社)日本印刷産業機械工業会(小森善治会長)では、オフセット枚葉印刷における標準印刷色「枚葉印刷用ジャパンカラー2007」を基準とした「Japan Color 認証制度」をスタートさせた。JGAS2009会期中にも「印刷技術の標準化」と題したセミナーが開催された。大勢の聴講者があり関心の高さをみせた。その後、10月20日に東京の機械振興会館において「Japan Color 認証制度説明会」が行われ、Japan Colorの概要、認証までの流れ、申込手順、審査料金などが明らかにされた。以下、その内容を紹介する。

及び工程管理責任者等の有無

印刷OKシートにおける色差

連続印刷時における振れ幅

2) マッチング認証、ブルーフ機器認証、ブルーフ運用認証他

Japan Color 認証制度では、印刷の工程能力を認証する「標準印刷認証」の他、「マッチング認証」、「ブルーフ機器認証」、「ブルーフ運用認証」を平成22年に予定しています。現在、検討を進めており、大まかな概要は次のとおりです。

「マッチング認証」標準印刷認証を前提として、誤差許容幅を狭め、見た目の一致まで判断する認証制度を目指しています。

「ブルーフ認証」印刷物だけでなく、色見本や校正紙を出力するプリンター「ブルーファー」の機器性能を認証します。

「ブルーフ運用認証」印刷物だけでなく、色見本や校正紙を出力するプリンター「ブルーファー」の運用能力を認証します。

標準印刷認証

【申請条件】

4色枚葉印刷機を保有していること
枚葉印刷用Japan Color2007キットを購入していること(問い合わせ先/(社)日本印刷産業機械工業会TEL03(3434)4661)

「JIS X 9201:2001(SCID画像)を購入していること(問い合わせ先/日本規格協会TEL03(3583)8041)

CTP版(175線、スクエアドット)を使用している印刷会社であること

測色器を所有していること

Japan Color2007準拠のコート紙、インキを調達できること

審査料・申請料を納付できること

【審査内容】

審査内容に関しては、「Japan Color 標準印刷認証制度に関する制度設置及び運営要領」及び「オフセット枚葉印刷Japan Color 標準印刷認証制度オペレーションガイド」を参照してください。

【認証基準】

1) 認証対象の構成要件

刷版 印刷機はCTP版を利用するタイプのものであること

印刷機 印刷機については、「管理項目表」に準じた内容を定期的に記録していること(管理項目表については、オフセット枚葉印刷Japan Color 標準印刷認証制度オペレーションガイドを参照)

2) 品質管理責任者

申請印刷機に対して品質管理責任者が定められていること

申請印刷機を管理する品質管理責任者は、申請印刷工場に勤務していること

3) 印刷

OKシートにおけるベタ部の4色の測色値: OKシートにおけるベタ部について、4色全てのL*a*b*値が枚葉印刷用ジャパンカラー2007に定められた値との比較で E ± 5 以内であること

OKシートにおけるCMYKの50%網点部のドットゲイン: OKシートのステップチャートの50%部について、4色全てのドットゲインが14 ± 3 以内であること(工業会が提供するOKシート用デジタルデータ自体は変更しないことをオペレーションガイドに明記)

抜き取りサンプルCMYKベタ部4色のL*a*b*値: 5,000枚を連続印刷して、500枚ごとに抜き取った10サンプル(3枚ずつ)計30枚の連続印刷紙におけるCMYKベタ部の各色を要因として扱い、68.26%以上のCMYKベタ部の4色のL*a*b*値が、OKシートにおけるL*a*b*値と比較して E 4 以内に収まっていること

抜き取りサンプルの50%網点部のドットゲイン: 5,000枚を連続印刷して500枚ごとに抜き取った10サンプル(3枚ずつ)計30枚の連続印刷紙におけるCMYK50%網点部の各色のドットゲインを要因として扱い、68.26%以上のCMYK4色のドットゲインが、OKシートにおけるドットゲインと比較して ± 3 以上以内に収まっていること

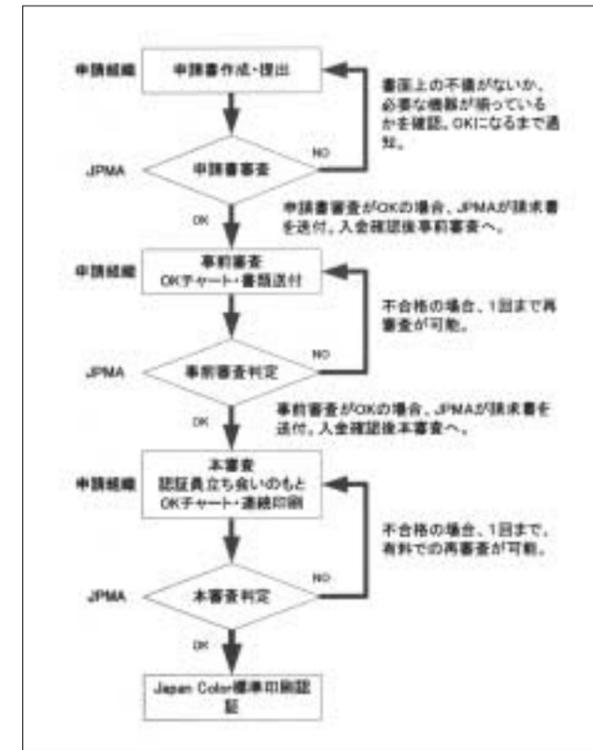
申し込みから認証までの流れ

図参照

費用

標準印刷認証における審査料金は以下のとおり。

- 1) 事前審査料・本審査料・登録に関わる費用
- ・新規審査料(税抜き)



申請から認定までの大きな流れ

事前審査料100,000円
本審査料200,000円
登録料 50,000円
合計350,000円
・更新審査料(税抜き)	
事前審査料 50,000円
本審査料100,000円
登録料 50,000円
合計200,000円

2) 再審査料

新規または更新時における本審査の再審査に係る費用

・再審査料(税抜き)

再審査料100,000円
有効期限と更新方法	

Japan Color 認証制度の認証は、2年ごとにその更新を受けなければ、その期間の経過によってその効力を失うものとします。更新を行わない場合、有効期限日の翌日から失効するものとする。

(なお、第1期募集期間は締め切られています。)

その他詳細に関しては、(社)日本印刷産業機械工業会 〒150-0011 東京都港区芝公園3-5-6 機械振興会 Japan Color 認証課 TEL03(6809)1617 FAX03(6809)1618 <http://www.jpma-net.or.jp/>

愛知県印刷工業組合では、2月20日(土)「Japan Color 認証制度」説明会、及び、Japan Color 勉強会を予定しています。



JGAS 2009の技術動向

オフセット印刷の UVインキ硬化技術に注目

10月6日～10までの5日間、東京ビックサイトにおいて「JGAS2009」が開催された。経済状況が厳しい中での開催であったが、会期中7万人ほどが来場し、先端技術の収集に熱がこもった。今回の展示会では、プレス分野では、オフセット印刷におけるLED-UVによる新しいインキ硬化技術への関心が高かった。また、インクジェット方式によるデジタルプレス機の出展が多く見られた。

プリプレス分野では、特にCTP関連で、廃液削減、ケミカルフリー処理、無処理など、環境対応が前面に打ち出された。一方、ポストプレス分野では、多種多様な製本仕様に応えるための機能の充実やオンデマンド印刷との連携が目を引いた。

今月号では、オフセット印刷のUVインキ硬化技術について報告する。

【LED-UV印刷システム】

先行するリョービ「LED-UVシステム」

JGAS2009会場では、LED-UVで先行しているリョービイマジクス、LED-UVの搭載を初公開した三菱重工、そして、小森コーポレーションはLEDインキを改良型ランプで硬化させる世界初のシステム「ハイブリットUV」を発表した。3社からの出展があり、それぞれ実演を通しアピールがされた。

また、オフセット印刷ではないが、光文堂から出展されたシール・ラベル用コールドフォイル印刷機「KBD foiltoneSL」にLED-UVを取り付け、デモを行っていた。シール・ラベル印刷にもLED-UV技術が採用されたことで、大きな注目があつた点を付記

しておく。

以下、3社の動向をブースでの説明と資料をもとに探ってみた。

リョービイマジクスのLED-UV印刷への取り組みから紹介してみる。

そもそも「LED-UV印刷」は、リョービイマジクスが昨年のdrupa2008において世界で始めて発表し話題を集めたシステムである。JGAS2009ではLED搭載機2台（RYOBI 920シリーズ、RYOBI 750 / 750Gシリーズ）を出展しLED-UVの最新技術や導入企業の状況などが紹介された。

LED-UV印刷システムとは、印刷物の乾燥用途として主流となっている水銀方式のUVランプ（紫外線硬化ランプ）の代わりに、LED-UV照射システム

を採用したものである。

リョービでは、「従来のUVランプ方式に比べて消費電力が70%から80%と大幅に削減可能であり、光源も約15倍という長寿命となっている。更に、発熱が少なく、オゾンや熱を排出するための排気設備も不要というメリットを持っている。UV印刷の速乾性に、省電力、環境にやさしいというメリットを加えた、次世代のUV印刷システムである。また、VOC削減やCO₂削減など、環境経営を推進する印刷会社には、環境対応の新しい印刷システムとして、更に、他社との差別化対策の手段としてアプローチできる利点がある」など、LED-UV印刷の利点が強調された。

LED-UVが発表された当時は、印刷用紙がターゲットとされていたが、会場では薄手の合成紙ユボへの印刷が実演された。これにより、「ユボと同様なフィルム、アルガラスなどの非吸収素材への印刷も可能になった」とし、「発表当時と比べると、LED用インキを開発するメーカーも増え、特殊素材だけでなく、パッケージで必要とされる厚紙向けインキ、OPニス、ニスコーター用など、種類も増えている。こうしたことから、様々な用途での印刷ができるようになった」との説明が聞かれた。

リョービでは、この製品の開発にあたり、印刷機の外観デザインを変えることなく、LED-UV印刷システムをコンパクトに配置し、メンテナンス性も考慮した機械デザインを実現。また、LED幅や光量の設定を、タッチパネル方式のカラー液晶ディスプレイで操作が行えるようにしている。

「LED-UVシステム」を初公開した三菱重工次に、LED-UV初公開の三菱重工を見てみる。同社のLED-UVに対する取り組みは、片面機と両面機「タンデムバ - フェクタ - 」への搭載をすでに

【LED-UVランプ方式のメリット】

LED-UVランプ方式と従来のUVランプ方式を比較してみると、次のような差があることがわかる。

・消費電力/LED方式の場合は、消費電力が約12KW、ランプ方式は47KWで、消費電力は約4分の1になる。少ない消費電力で電気代を削減し、環境負荷を低減する。

・オゾン発生・臭い・発熱/オゾンの発生に関しては、LED方式では、オゾンレス。インキ臭微量、排気ダクト工事不要であるが、チラーなどの水冷工事は必要となる。一方、ランプ方式の場合は、オゾン有り、インキ臭も強く、排気ダクト工事が必要となる。発熱に関しては、LED方式の場合は発熱は少なく、紙面温度上昇は約3程度である。これに比べランプ方式では、紙面上昇温度は約10になる。このことから、LED方式はランプ方式に比べ、印刷物や印刷機自体へ与える熱による影響を押さえることができる。

・設置スペース/LED方式は0.99平方メートル、ランプ方式は3.19平方メートルで、約3分の1になる。

・光源寿命/LED方式の場合は約15,000時間、一方、ランプ方式では約1,000時間以下で、約15倍となっている。

・準備時間/LED方式では、瞬時点灯、消灯ができるので準備時間は不要。すぐに次の印刷準備に取り掛かることができる。これに対しランプ方式では、ウォームアップに1分、クールダウンに4分という準備時間が必要になる。

・照射範囲/LED方式では、用紙サイズにあわせて、照射幅の制御ができるのに対し、ランプ方式では、ランプをつけたまま全幅使用になる。

環境を考えた次世代のLED-UV印刷システムは、印刷会社の環境改善と生産性向上に大いに貢献できるシステムとして注目は大きい。

（以上、リョービ提供の資料より）

発表しているが、今回はじめて実機「ダイヤモンド304-LED-UV」に搭載し公開を行った。

UVシステムについての実績を持つだけに、その

KONICA MINOLTA

コニカミノルタ

私たちはエコを 考えています。

The essentials of imaging

優れた環境適性と実用性を両立したCTPプレート

現像液処理不要(ケミカルレス)

廃液削減による環境適性

オペレーターに優しい作業性

現像液管理不要による安定した再現性

配管不要による省スペース稼働

高い検版性を有する出力品質

BLUE EARTH

ケミカルレスCTPシステム

新発売

ECO PRODUCTS

コニカミノルタ グラフィックイメージング株式会社 中部営業部：〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 三井住友海上名古屋しらかわビル10F/TEL.052-231-6277(代)

TOYO INK

生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか？私たちはモノ作りの会社として、先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に“満足”を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。

私たち東洋インキグループは、世界にひろがる「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ製造株式会社
中部支社 〒461-0025 愛知県名古屋市中区徳川1-901 サンエース徳川ビル1階 Tel: 052-979-7451

www.toyoink.co.jp

立場から、「UVは、多くの消費電力、オゾン発生に対応する排気装置が必要であり、コスト的なハードルが高いのが難点となっていた。このため、特殊印刷では経済性があるものの、一般商業印刷では採用しにくいという状況であった」とした上で、「UVの持つ課題を解決したLED-UVは、消費電力が低く、オゾンの発生もない。瞬時に点灯、瞬時に消灯ができるので、商業印刷での超短納期対応ができ絶対的な武器なる」と説明している。

LED-UVの特長に対しては、「UVに比べランプの寿命は15倍程度あり、消費電力も7～8割軽減でき、ランニングコストが大幅に低減する。これまでのランプには、インキを硬化させる波長のほか、熱を発生させる波長があり、印刷原反にダメージを与えたり、オゾンを発生させる波長により、排気設備が必要となっていた。しかし、LED-UVは、インキを硬化させる波長になっているため、これらの心配は皆無である」との点が強調された。また、「環境負荷の低減も期待できる」とした。

デモではLED-UV乾燥装置システムによるインキの速乾性が実演された。「これまでのランプに比べ、LEDは発光する光が弱いという弱点を持っている。そのため、乾燥装置を如何に紙に近づけるかが必要で、印刷機のどの部分にどのような方法で取り付けかが課題となっていた。この課題に対して、片面機では、排紙部の立ち上がり部分に設置している。これは、乾燥装置を紙に近づけて取り付けることにより、インキの光沢向上を考えたからである。当然、インキは瞬時に乾燥するので、乾燥待ち時間はゼロであり、パウダーの使用もない。また、タンデムの場合は、連結ユニットに取り付けることにより、最初に裏刷り面を乾燥、その後、表面を印刷して片面機と同様に排紙部の立ち上がり部で乾燥させている。

セラミックジャケットは使わないので、表裏の印刷品質の差は発生しない」との説明が行われた。また、「既設機にも取り付けが可能」である点が付け加えられた。

デモ機として使用された「ダイヤモンド304-LED-UV」は、印刷ニーズの多様化が進み、ジョブチェンジの頻度が増すほど、非印刷時間（マシン停止時間）がますます増えてくる。こうした現実の中で、真の生産性アップを達成するためには、非印刷時間をどれだけ短縮できるか、が鍵となる。

これまでとは異なる発想により開発されたのが同機である。版交換や洗浄作業などをスピードアップ＆省力化する新機構の採用により、従来に比べジョブチェンジ時間の飛躍的な短縮を実現している。更に、定期的なメンテナンスや清掃作業、印刷障害の発生など、印刷現場のタイムロスに繋がるプロセスやファクターを洗い出し、ディテールまで踏み込んで設計の改善が行われており、マシン全域にわたり80以上のアプローチを通じて、停止時間の最小化が図られている。

LED-UVとのマッチングにより、更に高度な印刷技術の提供がアピールされた。

小森の「ハイブリッドUVシステム」次に、「ハイブリッドUVシステム」を発表した小森コーポレーションを見てみる。

小森では、これまで発表されたLED-UV方式による乾燥技術から一歩脱却し、印刷会社の視点に立脚した高品質・信頼性、そして、エコロジー・エコノミーな新方式の乾燥システムを提案した。

初公開したシステムは、LED-UVインキを環境対応型UVランプで硬化・乾燥させるという、世界初の「ハイブリッドUVシステム」である。実演に用いられた機種は、こちらでも初公開となる「リスロン

S32」を使い行われた。

本システムのメタルハライドUVランプは、新しく開発されたもので、印刷中に臭気の原因となるオゾンを発生させるUVの波長をカットするとともに、見当不良の原因となる熱を発生する赤外線波長領域をなくしている。これにより、LED-UVランプの環境に対応するメリットを持つとともに、厚紙など幅広い仕事にも対応できるのが大きな特徴となっている。

印刷機には排気ダクトを施工する必要がなく、LEDインキと120ワットのUVランプ1本による乾燥方式である。

開発経緯について、「当社も、パナソニック電工製のLED-UVランプを使い印刷テストを行ったが、乾燥性や印刷適性については、何ら問題はなかった。ただ、現状のLED-UVランプは、薄紙の商業印刷を対象としており、インシャルコストの面でなかなか使ってもらえないのではないかと、との結論に至った。そこで、印刷会社に利益をだしてもらえない方法を第一に考えた。その結果、LED-UVインキと特殊なUVランプで、『ハイブリッドUVシステム』を開発するプロジェクトを立ち上げた。テストを繰り返す中で、LEDインキの特性に目を付けた。LEDインキは、一般の照明の紫外線でも皮が張ってしまうほど硬化性が高い。この特性を利用して、UVランプを使って乾燥させようと考えた。これまでのUVランプであれば160ワット3灯程度のエネルギーが必要であったが、LED-UVインキは、120ワット1灯で充分乾燥ができることがテストで実証できた。

UVランプは、熱とオゾンの発生が課題となっていたが、このランプでは、オゾンの発生する波長域をカットし、熱の発生も抑制している。更に、インシャルコストに関してはLED-UVの半分程度に抑えることができる。消費電力は、一般のUVシステム160ワット3灯程度から120ワット1灯になることで、電気代を数分の1に削減できる。LED-UV方式のように紙面との距離を接近させずに照射できるため、厚紙にも容易に対応できる。また、熱で伸縮しやすい特殊紙にも対応可能である。更に、LED-UV用インキだけでなく、ハイブリッドUV用インキの開発をインキメーカーと共に進めている。

『ハイブリッドUVシステム』は、コスト面でも技術面でも現時点での最善策である」と、ハイブリッドUVシステムへの期待を示した。

また、初公開された「リスロンS32」では、ハイ

身近な催し物のお知らせ（愛印工組関係）

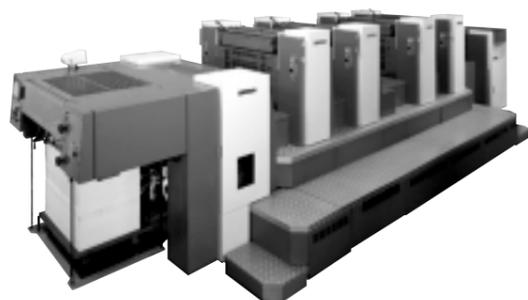
開催日時	事業・行事、場所、備考
平成22年 1月13日(水)	事業・行事 平成22年 新春印刷と関連業界新年互礼会 ところ 名古屋東急ホテル3階「ヴェルサイユ」 (1)パネルディスカッション 16:00～ 「INSATSU」への飛翔～感性価値創造の実践～ (2)新年互礼会 18:00～
1月27日(水) 18:30 ～20:30	事業・行事 マーケティング セミナー 「実例に学ぶ業態変革」 ところ ウィンクあいち 11階 1101会議室 講師:田中 信一氏(株式会社スコミュニケーション研究所代表) (業態変革実践プランの取り組み方法等事例を紹介しながら講義して頂きます。)
平成21年 10月上旬 ～ 平成22年 3月上旬	事業・行事 平成21年後期 鉛・有機溶剤取扱者健康診断実施 検診委託先 (社)オリエンタル労働衛生協会 鉛・有機溶剤取扱者につきましては、それぞれ 年2回(6か月毎に1回)の受診が法律によって 義務付けられております。
平成22年 2月20日(土) 10:00～12:00	事業・行事 教育セミナー「なぜ、今、Japan color なのか」 ところ ウィンクあいち 12階 1204会議室
2月20日(土) 13:30 ～16:30	事業・行事 教育セミナー 「顧客開拓営業について(仮題)」 ところ ウィンクあいち 12階 1204会議室
2月24日(水) 午後	事業・行事 経営セミナー ところ ウィンクあいち 11階 1101会議室 詳細は調整中
2月24日(水)	事業・行事 環境セミナー ところ ウィンクあいち 11階 1101会議室 詳細は調整中

身近な催し物のお知らせ（関係団体）

開催日時	事業・行事、場所、備考
平成22年 1月22日(金) ～23日(土)	事業・行事 佛光文堂 第46回佛光文堂新春機材展 ところ 名古屋市中小企業振興会館 吹上ホール 後援 愛知県印刷工業組合
1月26日(火)	事業・行事 中部グラフィックコミュニケーションズ工業組合 新春講演会と新年互礼会 ところ 中日パレス 講師:竹村亜希子氏 演題:リーダーの易经
2月19日(金) ～20日(土)	事業・行事 中部地区印刷協議会 「平成21年度下期会議」 ところ キャッスルプラザ 詳細は調整中

ブリットUVシステムと共に、新開発の「KHS-AI」、四六半裁機では世界初の「fuii-APC」、このクラス最大の紙サイズによる多彩な面付け、高付加価値印刷に対応する豊富なオプションなどにより、幅広いニーズに応える優れた機能についても披露された。

これが、魅せるマシン。性能ぐんぐん進化。魅力ますます真価。



SHINOHARA
75VIHP

篠原商事株式会社 株式会社篠原鐵五所

本社 〒421-1222 静岡県静岡市葵区産女1022
TEL(054)276-2008 FAX(054)276-2010
名古屋営業所 〒454-0985 名古屋市中川区春田3-147
TEL(052)302-5651 FAX(052)302-5654

最新の情報は <http://www.shinohara.com> に掲載しています。

SHINOHARA
1919

ご案内

「経営者医療共済」 愛知県中小企業共済協同組合

愛知県中小企業共済協同組合（中小企業共済）から、万が一に備え、大きな負担となる入院を手厚く保証する「経営者医療共済」が新商品として提供されています。

加入年齢 満15歳以上満70歳未満の方（満80歳まで継続可能）

共済掛金 月掛 7,700円

入院 20,000円（1日目から60日目を限度）

手術 15万円・10万円・5万円（診療報酬点数1,400点以上対象ノ一共済期間中15万円を限度）

ケガによるギブス固定見舞い 10万円（ギブス固定見舞いは、入院期間を除き連続15日以上続いた場合ノ一共済期間中1回を限度）

傷害死亡 1,000万円

申し込み資格は、愛知県内に事業所のある中小企業者で、共済契約を申し込める方（共済契約者）は、組合員の方になります（法人の場合はその法人、個人企業の場合はその事業主）。補償の対象となる方（被共済者）は、法人の場合は役員の方、個人企業の場合は事業主及び専従者の方です。また、出資金として、1事業所1口1,000円が必要になります。

税法上の取り扱いについては、法人が掛け金を負担した場合は、全額損金（福利厚生費）となり、個人企業の場合は、経費処理はできませんが、契約者の生命保険料控除の対象になります。また、共済金は、労災保険・生命保険・傷害保険などから給付があっても関係なく支給されます。掛け金は年齢や職業に関係なく一律です。

【特典】

福利厚生：宿泊利用補助ノ1人3,000円、観劇補助ノ1人3,000円、健診補助ノ生活習慣病予防健診5,000円、定期健康診断1,500円。

教育・情報提供：労働災害事故防止の手伝い、労働安全衛生教育講習受講料補助1人3,000円、技能検定試験合格者・技能者養成機関修了者補助1人3,000円。

その他詳細については、愛知県中小企業共済協同組合ノ名古屋市中央区丸の内2-4-7愛知県産業貿易館西館 TEL052(587)2223まで、お問い合わせ下さい。

ご案内

「普通火災共済」 愛知火災共済協同組合

愛知火災共済協同組合では、“小さな掛け金で大きな安心”をキャッチフレーズに、補償の範囲がワイドになった「普通火災共済」への加入を呼び掛けています。

【補償範囲】

火災、落雷、破裂・爆発などにより損害が生じたとき

風災・雪災 台風、せん風、暴風などの風災、ひょう災または豪雪、なだれなどの雪災により建物、家財など20万円以上の損害が生じたとき（付属物は対象外）

臨時費用 ~ の事故の場合、共済金のほかにその30%を臨時費用として支払う

残存物取り片付け費用 ~ の事故の場合、共済金の10%の範囲内で実費を支払う

失火見舞金費用 または の事故で他人の所有物に損害を与えたとき、「20万円×被災世帯数」を支払う

傷害費用 ~ によって共済金が支払われる場合に、契約者または親族、使用人に被害があったとき、死亡・後遺傷害30%、重症ノ共済金額2%を支払う

地震火災費用 地震、噴火などにより火災が発生し、次の損害が生じたとき。1) 建物が半焼以上または損害の額が20%以上のとき、2) 家財が共済の目的の場合は、家財を収容する建物等が半焼以上または家財の損害が80%以上のとき、3) 共済の目的が設備、什器または商品、製品の場合は、これらの収容する建物等が半焼以上となったとき、共済金額×5%

修理付帯費用 上記 ~ の事故で、損害の原因調査費用や仮修理費用、仮設費用等の実費を支払う

損害防止費用 上記 ~ の事故で、損害の防止、軽減のための支出した費用を支払う

以上の補償範囲は、普通火災共済の住宅・普通物件にのみ適用されます。また、工場物件については一定の条件下、「航空機からの物体の落下」「車両の衝突」「騒じょう、労働争議」及び「給排水設備の事故に伴う漏水」による損害も支払の対象となります。

その他詳細については、愛知火災共済協同組合ノ名古屋市中区栄3-32-26(安藤ビル) TEL052(251)6281まで、お問い合わせ下さい。



【経営・マーケティング研究室】事業革新と戦略経営、戦略会計、需要開拓と企画提案型営業など、マネージメントを実践的に極める。



【プリプレス工房】売れるグラフィックデザインとDTP、CTP、CIP3、カラーマネージメントなど、デジタルワークフローを追及する。



【プレス工房】ソフトウェア(思考技術)と高付加価値型HIO印刷システムの真髄に迫る。

学校法人日本プリンティングアカデミー(JPA) オープンキャンパス(1日体験入学)開催 2010年1月13日(水) 2月6日(土) 3月10日(水)

学校法人日本プリンティングアカデミー(濱照彦学校長)では、同校の実践教育を知ってもらおうと、毎月オープンキャンパス(1日体験入学)を開いている。平成22年度は、1月13日、2月6日、3月10日に開催する。

JPAは、1978年に創立され、全国各地で1,000余名の卒業生が活躍している。同校では、「戦略経営」「提案型営業」「技術革新」の実践力を、バランスよく身に付けたニューリーダー(後継者)の育成と研究開発を主眼としており、卒業生は、文部科学省認定の「印刷専門士」の資格を得、その他、カラーコーディネータ・情報処理・ビジネス能力など、多彩な資格取得が可能である。

オープンキャンパスは、各開催日とも、13時から開始され16時終了となっている。

内容は、ミニセミナー「印刷・メディア産業の新たな価値とビジネスモデル」、JPA教育の特徴について「実践的“人財”育成と研究・開発」、実習設備見学と体験「売れる印刷メディアの製造と規格提案」が生まれ、具体的な実践と体験では、「カラー印刷物はどうに作られるか、理論と実践(DTP・プリプレス、刷版・印刷工程)の体験」「あつという間にできあがり、デジタルカメラ、デザインDTP体験」、「ドッキリ、あなたの好みが暴かれる、イメージ診断の体験」、「お店情報満載!地域活性化とフリーマガジン」、「面白ハイタッチゲームの体験など」、「実践経営マネージメントゲーム

の体験など」、「独自の研究・開発についての概要紹介」などが行われる。

対象者は、入学検討者本人及び保護者、後継者育成を検討中の企業経営者及び役員、人材育成及び研修を検討中の企業経営者及び担当者、その他。(注ノ社員の研修用として参加希望に対しても相談を受け付けている。)

申し込み方法は、電話・はがき・FAX・メールで開催日の前日までに申し込む。

同校では、上記以外にも見学は自由にできるとしている。また、グループや団体による学校見学会も受けており、近くに「印刷博物館」もあることから、見学コースとして設定することもできる。

【JPAの修業年限とコース】

グラフィック・メディア特進科(2年制) 基礎・応用・専門の課程をフルに学ぶ基本コース

グラフィック・メディア基礎科(1年制) 仕事の基本、知識、技術、マネージメント、マナーを習得

インターンシップ併用コース(1~3年制) 企業派遣者のためのコースで、午後は社内研修可

新入社員研修支援コース(3週間から6か月) 基礎科に準じて基礎知識、技術を総合的に学ぶ

特別研究コース(6か月から1年間) 特定企業の中堅社員を特別研修生として受け入れる

napsは、DTPの?に 処方箋をお出しいたします。

DTPのソフトウェアとハードウェア環境は、ますます高機能化、高性能化し、ネットワーク対応の度合いを進化させています。その一方で異なるOS間のデータ互換、クロスプラットフォーム化の現在、ナプスは最適なDTP環境をご提案、ご提供させていただきます。

株式会社 ナプス

〒466-0058 名古屋市中区白金山三丁目7番6号
TEL.052(882)3481 FAX.052(882)3483

紙でご愛顧50年

印刷用紙専門商社

メイカミ

名古屋紙商事株式会社

社長 長谷川 志

名古屋市中区主税町4-83 〒461-0018

TEL.052-931-2221(代) FAX.052-932-1418

豊山加工センター 愛知県西春日井郡豊山町豊場

TEL 0568 28-2049



学校法人 日本プリンティングアカデミー(JPA)
〒112-0002 東京都文京区小石川1-13-2 Tel 03-3811-2734 Fax 03-3811-3557
e-mail: general@jpa.ac.jp http://www.jp.ac.jp/

パネルディスカッション 開催のご案内

「INSATSU」への飛翔 ～感性価値創造の実践～

経営者と後継者の方が一緒に
ご聴講ください

愛印工組恒例の平成22年新春「印刷と関連業界」新年互礼会を、1月13日名古屋東急ホテルにおいて開催しますが、互礼会に先立ち、パネルディスカッションを開催します。

パネルディスカッションは、全国青年印刷人協議会の「感性価値創造事業」への取り組みと経済産業省が推進する国家プロジェクト「感性価値創造事業」との劇的な出会いの中で感じた疑問や矛盾の中で進めた研究成果を発表していただきます。経営者とその後継者の方に是非ご出席いただき、感性価値による新規事業や地域活性プロジェクトの立ち上げ、印刷産業の明日の開拓に向けて進む一助にしていただければ幸いです。

なお、新年互例会に出席の方は無料ですが、講演会のみ参加の方には2,000円のご負担をお願いいたします。

テーマ：「INSATSU」への飛翔～感性価値創造の実践～

パネリスト：白田真人氏（全国

青年印刷人協議会議長）岸昌洋氏（全国青年印刷人協議会副議長）、江森克治氏（全国青年印刷人協議会副議長）

とき：平成22年1月13日(水)午後16時から17時30分

ところ：名古屋東急ホテル（名古屋市中区栄4-6-8）

組合からのお願い/パネルディスカッションは、全印工連と全国青年印刷人協議会が発行しました「『INSATSU』への飛翔～感性価値創造の理論と実践～」と題した冊子をもとに行われます。当日、受付において販売（実費1,000円）を致しますので、お買



い求めをいただいた上で、ご聴講していただくと、より理解が深まると思います。

全国青年印刷人協議会からのコメント

私たち全国青年印刷人協議会では、前年度から今年度にかけての事業において、「感性価値創造」と「業態変革の実践」を2本の柱として掲げてまいりました。

自らの手による新たなマーケット創造の一つの手段としての感性価値創造事業。感性価値は、私たちの未来に活路を開くイノベーション原理でもあります。そして、業態変革の実践は印刷を中心とした周辺領域への市場拡大とお客様の問題解決を提供するワンストップサービスを具現化し、光付加価値による収益拡大へと結び付けていくものです。

「感性価値創造」と「業態変革実践」を上手くコラボレーションすることで、印刷業としての新しい活路が開かれると確信しています。業界全体が、「感性価値創造」と「業態変革の実践」のコラボレーションにより、新しい方向性を見出すために「紙媒体の今後」を含め、全国青年印刷人協議会での2年間の活動をご紹介します。

事務局だより

12月号をお届けする時期になりました。月日の経つ早さに驚いていますが、この驚きは、今年も何もできずに過ぎてしまったことへの後悔の現れだと、自分を戒めています。あれこれ考えていてもお正月はもう間近です。いいお正月を迎えるためには、残りを頑張ることしかないようです。来年こそ、いや来年も、お役に立つ情報提供と明るい誌面づくりに努力をしたいと思います。事務局の年

末年始の休みは、12月29日から1月4日までです。新年は5日から始

業となりますのでよろしく願い申し上げます。

あいの印刷

No.457

平成21年12月10日発行

発行人 高井 昭 弘
編集 組織・共済・労務委員会
発行所 愛知県印刷工業組合
〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目20番12号
TEL 052 962-5771
FAX 052 951-0569

ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>
E-mail アドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp